

2018年2月15日

北欧個人向けローンファンド（全号共通）

2018年1月期（2018年1月1日～1月31日）の運用状況及び分配について

平素よりお世話になっております。北欧個人向けローンファンドにご投資いただき、ありがとうございます。2016年12月期においてご報告申し上げた運用環境が継続しておりますので、ご案内申し上げます。また、2017年2月期から、投資家様の公平性をより保つために各号ごとの分配額の決定方法を変更させていただいておりますので、ファンド全体の分配額についても併せてご連絡させていただきます。

【運用環境について】

本ファンドは、Fellow Finance Oyj が運営する P2P レンディングマーケットプレイスを通じてフィンランドの個人向けローンに投資するファンドでありましたが、当社以外の投資家からの Fellow Finance Oyj のローンへの投資資金流入が増加したことで市場金利が低下し債務者の借換え、貸付期間の長期化が多数発生いたしました。その結果、本ファンドの投資対象となる個人向けローン案件が減少したため2016年7月より Bondora AS が運営する P2P レンディングマーケットプレイスを通じてエストニア・フィンランド・スペインの個人向けローンにも投資対象を広げファンド運用を行ってまいりました。しかしながら、その後も継続的に投資家からの資金流入が増加したことで利率低下とローンの長期化が一段と進行し低利率、長期借入が定常化しております。当社が主要な投資対象としていたクレジットレーティングのローンの平均貸付利率はファンド設立当時 20.7% でありましたが、1 月現在 12.6% まで低下しております。

【当社の対応】

利率低下、および長期化を伴う借換への増加の影響を受けて、本ファンドにおいては利息収入の低下と滞留資金の増加を避けられず、ファンド設定当初に見込んでいた利息収入を受け取ることができなくなったため、配当可能な現金財産を各号ごとに按分処理したうえで、各号ごとのエストニア子会社からの返済額をすべて元本返済に充当し、投資家様に分配することといたしました。具体的な今後の分配方法としては、現在ファンドが保有している現金財産と今後貸付債権から回収が見込まれる将来キャッシュフロー(契約上の金額ではなく、遅延、延滞等の影響を考慮した当社の推算値)から得られる収入をもとに、各号のユーロ貨による最終的な投資倍率が可能な限り等しくなるように按分比率を決めさせてい

ただいております。その按分比率に応じて、毎月分配可能な現金を按分し分配しております。将来キャッシュフローに関しては毎月の分配時に精査し按分比率もその都度調整いたします。

なお、当月の分配予定の無い号に関しては分配可能額を次回分配予定日まで留保しておき、分配が予定されている月に留保していた額と予定月の額を合わせて分配を行っております。

なお、当面、投資家様への分配を出資金に限定する理由は、ファンド全体の分配額が当初見込まれていた額を下回っている中で、子会社からの利息に対応する利益を分配した場合、投資家様において源泉徴収税の負担が生じ、その分トータルでのネット（手取り）の受取り額が減少してしまうので、それを避けるためです。

当月のファンド全体の分配額の決定に関しましては以下の計算をご参照ください。

1月分配時点（ファンド全体）

ローン残高	€ 152,155.29	・・・ (1) : 当月分配時のローン残高
現金	€ 99,197.47	・・・ (2) : 当月分配時の現金残高
合計	€ 251,352.76	・・・ (3) = (1) + (2)
当月按分可能額	€ 24,642.03	・・・ (4) : 当月の分配可能原資総額 ※
当月留保金計上額	€ 11,804.58	・・・ (5) : 当月分配の無い号への留保額
累計留保金充当額	€ 3,664.07	・・・ (6) : 累計留保金から当月の分配に充当する金額
当月分配額	€ 16,501.52	・・・ (7) = (4) - (5) + (6) : 当月分配のある号への分配額
前期累計留保金	€ 48,003.23	・・・ (8) : 前月までに留保された金額の累計（(2)の内数）
当期留保金残高	€ 56,143.74	・・・ (9) = (8) + (5) - (6) : 当月分配後の留保金残高

※将来のキャッシュフローを想定し当社が計算した分配可能原資額

【今後の見通し】

本ファンドはこれまで、投資可能な現金資金が滞留している場合に、投資対象たりうるローン期間及びクレジットレーティングの新規ローン案件に再投資を行って利息収入を最大化するよう努めてまいりましたが、【運用環境について】に前述しております通り、当月期につきましても、本ファンドが再投資の対象とするクレジットレーティングの新規ローン案件の貸付利率が低下するとともに貸付期間が長期化する状況が続いたことで、投資対象たりうる新規ローン案件がなかったため再投資できておりません。一方で、既存ローン案件における早期償還が継続しておりますので、それによって、当初予定していた利息収入を満額獲得することが引き続き困難な状況にあります。つまり、ユーロ建てでの運用利回りが当初の期待利回りに対して低下することは避けられない状況にあります。もちろん、今後の遅延、未払い元本及び利息の発生頻度によって最終的な実現利回りは上下いたします。

なお、分配金はユーロを円貨に転換しファンドごとの分配スケジュールに従いお支払いいたします。

(この際、出資金の返済に為替差益が発生し、かつその金額がそれまでに発生した累計の為替差損分を超えていた場合には、利益として認識されますので源泉徴収税が控除されます。) 分配額の詳細は分配金レポート(当社サイト上のマイページに掲載いたしております。)をご確認いただければ幸いです。

今後とも弊社業務に対するご理解・支援を賜りますようお願い申し上げます。

<会社概要 (クラウドクレジット株式会社) >

【代表者】 杉山智行

【設立年月日】 2013年1月

【資本金等】 1,100,917千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入